

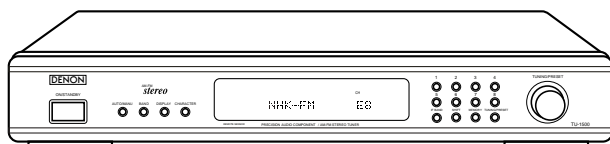
DENON

取扱説明書

TU-1500

AM-FM STEREO TUNER

AM-FM ステレオ チューナー



目次

はじめに	1 取り扱い上のご注意……………2
	2 本機の特長……………2
	3 付属品について……………2
接続	4 接続のしかた……………3
準備	5 各部の名前とはたらき……………4～5
操作	6 操作の前に……………5
	7 ラジオ放送の聞きかた
	(1) 選局のしかた……………6
	(2) FM/AM放送のプリセットのしかた……………6
	(3) オートメモリーのしかた (FM放送のみ)……………6
(4) プリセットした放送の聞きかた……………7	
(5) 放送局名の登録のしかた……………7	
その他	8 保証とサービスについて……………7
	9 故障かな?と思ったら……………8
	10 主な仕様……………8

安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書と別冊の『使用上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

1 取り扱い上のご注意

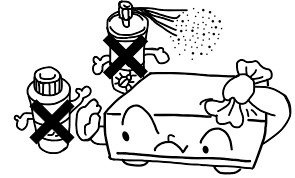
設置の際のご注意

チューナーのアンテナ線は、他の機器の電源コードおよび入出力などの接続コードから離して設置してください。近くにテレビがある場合、テレビによってはラジオ放送受信中に雑音が入る場合があります。このような場合は、雑音が消えるまで本機とテレビを離してください。

お手入れについて

キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取る時は柔らかい布を使い、軽く拭き取ってください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると変質したり変色することがありますので使用しないでください。



使わないときは

ふだん使わないとき

必ず電源を切っておいてください。

外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

移動させるとき

衝撃を与えないでください。

必ず電源プラグを抜き取り、他のオーディオ機器との接続コードを外したことを確認してからおこなってください。



2 本機の特長

1. AM/FMランダム40局プリセットチューナー

ランダムプリセットで使いやすくFM多局化に対応。

2. AMステレオ放送対応

AMステレオ復調回路を内蔵し、臨場感あるAMステレオ放送に対応。(受信局がAMステレオ放送局であることが必要です。)

3 付属品について

梱包箱の中には本体とは別に下記の付属品がついています。ご使用前にご確認ください。

取扱説明書(本書)	1
電源コード	1
接続コード	1
FM用T型簡易アンテナ	1
AM用ループアンテナ	1
サービス網一覧表	1
保証書(梱包箱に貼り付けられています)	1

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。

隣り近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。

ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。

特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

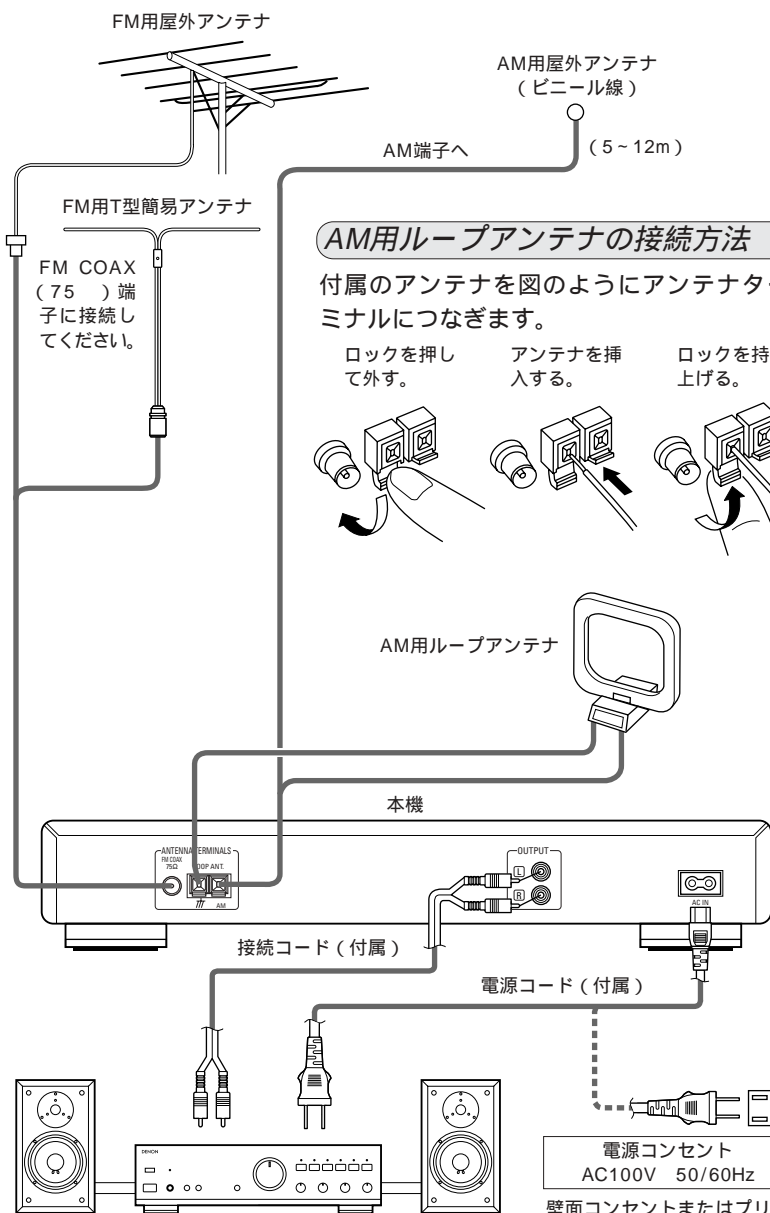
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

4 接続のしかた

FM用屋外アンテナの接続方法

付属のアンテナで放送がきれいに受信できないときは、FM用屋外アンテナを用いて同軸ケーブルにF型コネクターをつないで本機のFM COAX (75) 端子に接続してください。



[接続例]
 本機の出力端子 (OUTPUT) の左 (L)、右 (R) をプリメインアンプの入力端子 (TUNER) の左 (L)、右 (R) に接続します。

FM用屋内アンテナの設置方法

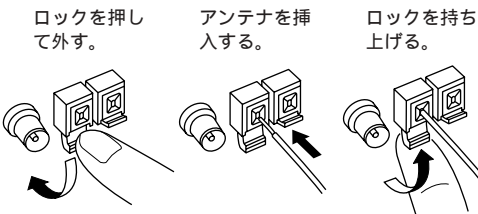
FM放送を受信し、音を聞きながら歪みや雑音の最も少ない位置にアンテナの先端をテープや押しピンなどで固定してください。

AM用屋外アンテナの接続方法

付属のアンテナで放送がきれいに聞こえないときは、5m以上のビニール線をAM端子につないでください。ビニール線の高さ・方向を変えて最もはっきりと受信できるように固定します。付属のAM用ループアンテナは必ず接続しておいてください。

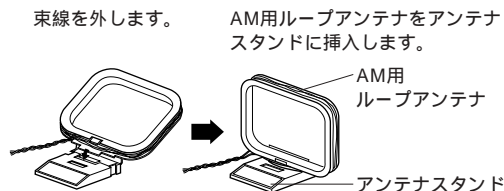
AM用ループアンテナの接続方法

付属のアンテナを図のようにアンテナターミナルにつなぎます。



AM用ループアンテナの組み立てかた

付属のAM用ループアンテナを図のように組み立てます。



AM用ループアンテナの設置方法

AM放送を受信し、音を聞きながら本機からできるだけ離し、歪みや雑音の最も少ない位置に設置してください。接続の極性を逆にした方が良い場合もあります。AM用ループアンテナを接続しなかったり、また接続していても金属部分に接近しているとAM放送を良好に受信することができません。

FM用屋外アンテナを立てる場所について

放送局の送信アンテナに向けて立てます。ビルや山のかけなどでは最も良く受信できるところに立てて方向も変えてみてください。
 送電線の下には立てないでください。送電線がアンテナに触れると大変危険です。
 自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路から離れたところに立ててください。
 落雷の恐れがありますので、あまり高いところには立てないでください。

ご注意

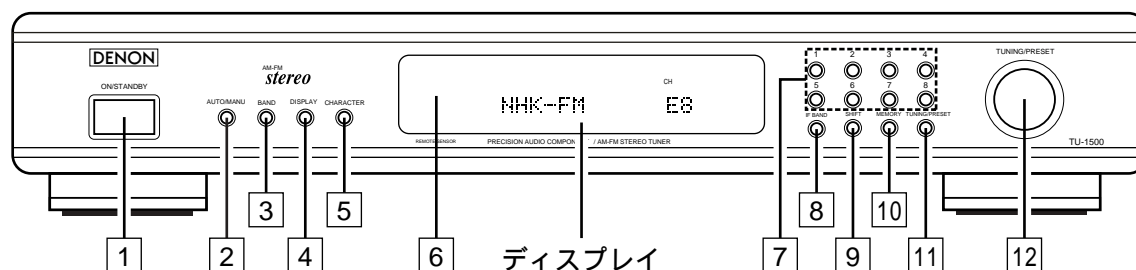
すべての接続が終わるまで、電源プラグはコンセントに差し込まないでください。
 接続コードと電源コードを一緒に束ねたり、電源トランスの近くに接続コードを設置しますと、ハムや雑音の原因になることがあります。
 プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音発生の原因になります。

ご注意

本機にはAM用ループアンテナおよびFM用T型簡易アンテナが付属しています。正しく接続してご使用ください。放送がきれいに聞こえないときは、屋外アンテナを使用します。『FM用屋外アンテナを立てる場所について』を良く読んで設置してください。

5 各部の名前とはたらき

(1) フロントパネル



1 電源ボタン (ON/STANDBY)

押すと電源が入り、ディスプレイが点灯します。数秒のミュート後、本機は正常動作になります。もう一度押すと電源が切れてスタンバイ状態になり、ディスプレイが消灯します。

2 受信モード切り替えボタン (AUTO/MANU)

AUTOモード： (“AUTO”表示点灯)

放送をステレオで受信するときに使用します。放送の内容により、自動で音声モノラル/ステレオに切り替わります。選局時は自動的に周波数がアップまたはダウンします。

MANUALモード：

放送がモノラル/ステレオに関係なくモノラルとして受信します。ステレオ放送受信時 (“AUTO”表示点灯) で雑音の多いときや電波が弱いときは、このボタンを押して受信モードを『MANUAL』にしてください。選局時は12選局つまみ (TUNING/PRESET) を操作しているときのみ周波数がアップまたはダウンします。

3 FM/AMバンド切り替えボタン (BAND)

押すたびにFM AM FMの順に受信バンドが切り替わります。

4 ディスプレイ切り替えボタン (DISPLAY)

周波数表示とキャラクター (放送局名) 表示を切り替えるときに使用します。キャラクターが設定されていないときは周波数のみ表示され、切り替わりません。

5 キャラクター設定ボタン (CHARACTER)

押すとキャラクター設定モードになり、7選局ボタン (1~8) と9シフトボタン (SHIFT) を組み合わせて使用します。8桁の放送局名を最大合計40局まで登録することができます。登録のしかたについては、7ページの『(5) 放送局名の登録のしかた』を参照してください。

6 リモコン受光部 (REMOTE SENSOR)

ワイヤレスリモコンの受光部です。

7 プリセットチャンネルボタン (1~8)

受信バンドと周波数の記憶/呼び出しに使用します。FM/AM (MW) でランダムに合計40チャンネルをプリセットできます。9シフトボタン (SHIFT) との組み合わせにより下記のチャンネル番号のボタンになります。

SHIFT A : A1 ~ A8	合計8チャンネル
SHIFT B : B1 ~ B8	合計8チャンネル
SHIFT C : C1 ~ C8	合計8チャンネル
SHIFT D : D1 ~ D8	合計8チャンネル
SHIFT E : E1 ~ E8	合計8チャンネル
	合計40チャンネル

9シフトボタン (SHIFT) で希望のチャンネル範囲を選んでから7プリセットチャンネルボタン (1~8) を押して選択します。チャンネル番号がディスプレイに表示されます。

8 IFバンド切り替えボタン (IF BAND)

FMの中間周波数増幅段の帯域幅を切り替えるときに使用します。隣接した放送局と混信している可能性がある場合は『NARROW』にしてください。その他の場合は『WIDE』で受信した方がより良い音で受信できます。

9 シフトボタン (SHIFT)

プリセットチャンネルの範囲を選ぶときに使用します。押すたびにSHIFT A B C D E Aの順にくり返し切り替わります。

10 メモリーボタン (MEMORY)

7プリセットチャンネルボタン (1~8) に受信バンドと周波数を記憶させるときに使用します。押すとディスプレイの“CH”および“MEMO”表示が約5秒間点滅します。この間に記憶したいチャンネル番号の9シフトボタン (SHIFT) と7プリセットチャンネルボタン (1~8) を押すと、そのチャンネルに記憶されます。

11 選局モード切り替えボタン

(TUNING/PRESET)

12選局つまみ (TUNING/PRESET) の動作モードを切り替えるときに使用します。TUNINGモードのときは、“TUNING”表示が点灯します。また、PRESETモードのときは、“PRESET”表示が点灯します。

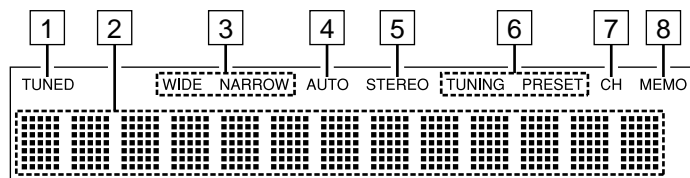
12 選局つまみ (TUNING/PRESET)

11選局モード切り替えボタン (TUNING/PRESET) と組み合わせて使用します。TUNINGモードのときは“TUNING”表示が点灯し、周波数のアップまたはダウンをおこないます。時計方向に回すと周波数がアップし、反時計方向に回すと周波数がダウンします。PRESETモードのときは“PRESET”表示が点灯し、プリセットチャンネルのアップまたはダウンをおこないます。このモードのときはオートチューニング動作をおこないません。

ご注意

本機にリモコンは付属されておりませんが、DENONのアンブなどに付属されているシステムリモコン (チューナーコントロールボタン付きのもの) を使用すると本機を直接コントロールできます。

(2) ディスプレイ



- 1 **TUNED表示**
受信周波数の入力レベルが実用レベル以上のときに点灯します。
- 2 **受信バンド/周波数表示**
受信バンド、受信周波数、キャラクターなどを表示します。
- 3 **WIDE/NARROW表示**
IF増幅段の帯域幅を表示します。FM受信時のみ点灯します。
- 4 **AUTO表示**
受信モード切り替えボタン (AUTO/MANU) でAUTOモードにしたときに点灯します。
- 5 **STEREO (ステレオ) 表示**
AUTOモードにおいて、ステレオ放送受信時に点灯します。
- 6 **TUNING/PRESET表示**
選局つまみ (TUNING/PRESET) の動作モードを表示します。
- 7 **CH (チャンネル) 表示**
プリセットチャンネルを表示するときに点灯します。また、メモリーボタン (MEMORY) を操作したときは点滅します。
- 8 **MEMO (メモリー) 表示**
メモリーボタン (MEMORY) を押すと約5秒間点滅します。

6 操作の前に

FM/AMステレオ受信について

本機はAMステレオ復調回路を内蔵していますので、AMステレオ放送を受信することができます。

受信モード切り替えボタン (AUTO/MANU) がAUTOのときにステレオ放送を受信するとSTEREO表示が点灯し、ステレオ受信になります。AM受信でディスプレイのTUNED表示が点灯しない弱入力の場合、AMステレオ放送であってもモノラル受信になります。

アンテナ入力レベルが低くステレオ受信に雑音が多いときは、受信モード切り替えボタン (AUTO/MANU) をMANUALにしてモノラルで受信してください。受信モード切り替えボタン (AUTO/MANU) はFM/AMバンドごとにオート/マニュアルの設定ができ、受信周波数をメモリーするときに同時に記憶されます。

ご注意

AM放送受信中に近くでテレビなどを使用すると“ピー”という雑音が入ることがあります。テレビなどからできるだけ離して設置してください。

遠方のAMステレオ放送を受信中にフェーディング (数秒～数十秒ごとに電波が強くなったり弱くなったりすること) があるとき、音像の定位が不安定になることがあります。また、夜間などAM放送受信中に遠方局からの混信がある場合、モノラル放送でもSTEREO表示が点灯または点滅することがあります。このような現象が起きた場合は、受信モード切り替えボタン (AUTO/MANU) をMANUALにしてください。

お願い

お近くの放送局がAMステレオ放送をおこなっているかどうか、また番組がステレオ放送かについては新聞の番組表などでお確かめください。

プリセットについて

プリセットとは、予め受信したい放送局の周波数をプリセットチャンネルに記憶させておくことです。プリセット後は受信したい放送局のチャンネル番号を押すだけで受信できます。

すでにプリセットされているチャンネルに再度プリセットすると、前のデータは消され新しいデータが記憶されます。プリセットされたデータは電源をスタンバイ状態にしても保持されます。

電源コードを抜いたり停電などで一時的に電源が切れてもプリセットされたデータはすぐには消えませんが、2週間以上放置しておきますと消えることがあります。消えた場合は再度プリセットしてください。

ラストチャンネルメモリーについて

本機は電源をスタンバイにしたとき、オート選局/マニュアル選局/プリセット選局の受信に関わらず電源をスタンバイにする直前の受信状態 (バンド、周波数、プリセットチャンネル番号、モード設定など) を保持するラストチャンネルメモリー方式になっています。次回電源をオンにした場合は、電源をスタンバイにする前の状態になります。

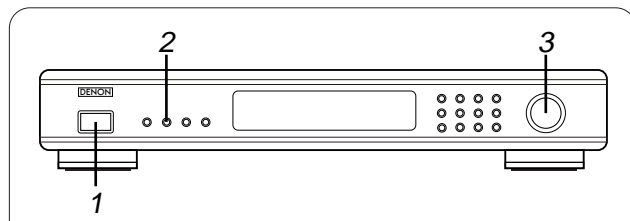
ご注意

プリセットされたデータ保持のため、本機の電源コードは常時通電されている壁の電源コンセントか、アンプなどの非連動コンセント (UNSWITCHED) に接続してください。

7 ラジオ放送の聞きかた

(1) 選局のしかた

[例] FM83.00MHzに合わせる



1 電源ボタンを押します。
ディスプレイが点灯します。

2 FM/AMバンド切り替えボタンを押して、『FM』を選びます。

2 つづき

FM表示になる

FM 76.00MHzA

3

選局つまみを回して、『83.00MHz』に合わせます。

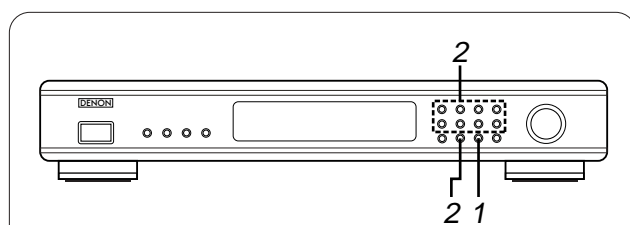
受信すると点灯する

TUNED

FM 83.00MHzA

(2) FM/AM放送のプリセットのしかた

[例] 選局したFM83.00MHzをプリセットチャンネルA2にプリセットする



1 メモリーボタンを押します。
ディスプレイの“CH”と“MEMO”表示が約5秒間点滅します。

点滅する

FM 83.00MHzA

2

ディスプレイの“CH”と“MEMO”表示が点滅している間に、シフトボタンを押して表示を『A』にしてからプリセットチャンネルボタンの『2』を押してください。

A (シフト) と2 (プリセットチャンネル) が点灯する

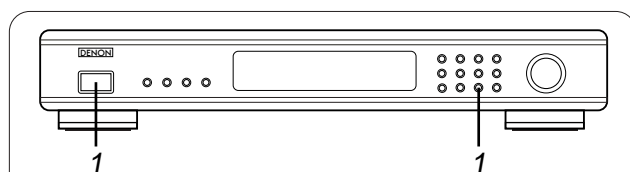
SHIFT

2

FM 83.00MHzA2

同じようにFM/AM放送をランダムに40局までプリセットできます。
例えばC4にプリセットするときは、シフトボタン (SHIFT) を押して表示を『C』にしてからプリセットチャンネルボタンの『4』を押します。またE5にプリセットするときは、シフトボタン (SHIFT) を押して表示を『E』にしてからプリセットチャンネルボタンの『5』を押してください。

(3) オートメモリーのしかた (FM放送のみ)



1 電源を一度切った後、メモリーボタンを押しながら電源ボタンを押します。

1 つづき

点滅する

AUTO

FM 83.00MHzA

オートメモリーモードになり受信できるFM局が自動的に記憶され、プリセットチャンネルA1から順にプリセットされます。オートメモリーが終わると“CH”と“MEMO”表示の点滅が止まります。

(4) プリセットした放送の聞きかた

[例] プリセットチャンネルA2にプリセットされたFM放送を聞く

1 シフトボタンを押して、表示の『A』を呼び出します。シフトボタンを押すたびにA B C D E Aと繰り返します。

1 つづき

点灯させる

FM 83.00MHzA

2 プリセットチャンネルの『2』を押します。

A (シフト) と2 (プリセットチャンネル) が点灯する

FM 83.00MHzA2

(5) 放送局名の登録のしかた

[例] プリセットチャンネルA2にFM放送局名DENONを登録する

1 前項(1)選局のしかたまたは(4)プリセットした放送の聞きかたで、希望する周波数に合わせます。

2 キャラクター設定ボタンを押します。ディスプレイの受信バンド/周波数表示部に“...”が約5秒間点滅します。

点滅する

CH A2

3 ディスプレイの“...”が点滅している間に選局つまみを回して、『D』を表示させます。シフトボタンを押すと右側に“...”が移動しますので同様にE N O Nの順番で文字を表示させます。

TUNING/PRESET

SHIFT

点灯する

CH DENON A2

4 前項(2)FM/AM放送のプリセットのしかたと同じ方法で点灯している放送局名を『A2』に登録します。

同じようにFM/AM放送をランダムに40局まで最大8桁の放送局名を登録できます。下図のように63通りのキャラクターを選ぶことができます。

A,B,C,D,E,F,G,H,I,J,K,L,M,N,O,P,Q,R,S,T,U,V,W,X,Y,Z,0,1,2,3,4,5,6,7,8,9,[,\,],^,_,!,",#,&,%,',(,),*,+,=,~,./,:;,<,>,?,(space)

8 保証とサービスについて

- この商品には保証書が添付されております。保証書は所定事項を販売店で記入し、お渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店または最寄りの当社営業所(サービス窓口一覧表参照)が修理を申し受けます。(但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となります。)その他詳細につきましては、保証書をご覧ください。
- 保証期間後の修理については、お買い上げ販売店または最寄りの当社営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げ販売店または最寄りの当社営業所にご相談ください。

9 故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

各接続は正しいですか
取扱説明書に従って正しく操作していますか
アンプやスピーカーは正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き取り、お買い上げ店または最寄りの当社営業所にご連絡ください。

現象	原因	処置
電源が入らない。	電源プラグが電源コンセントから外れていませんか。	電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
FM放送に“ザー”という雑音が入る。	アンテナケーブルが正しく接続されていますか。 アンテナの方向が悪くありませんか。 放送局の電波が弱くありませんか。	アンテナケーブルを正しく接続してください。 機器の配置や接続コード、アンテナなどの位置や向きを変えてください。 屋外アンテナを接続してください。
AM放送に“シー”や“ザー”という雑音が入る。	テレビなどから雑音が入っていませんか。 または、放送局の干渉音が聞こえませんか。	テレビを消してください。 AM用ループアンテナの位置や向きを変えてください。 屋外アンテナを接続してください。
AM放送に“ブーン”という雑音（ハム）が入る。	電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調を受けていませんか。	電源プラグの方向を逆に差し込んでみてください。 屋外アンテナを接続してください。

10 主な仕様

FM部

受信周波数範囲 76.0～90.0MHz
アンテナ端子 75
実用感度 1.2 μV/75 (12.8dBf)
周波数特性 20Hz～15kHz+0.5, -0.5dB
S N 比 ステレオ：78dB
モノ：82dB

全高調波ひずみ率 ステレオ：0.12% (90%変調時)
モノ：0.08% (100%変調時)

ステレオセパレーション 1kHz：50dB
出力(100%変調時) 0.6V

AM (MW) 部

受信周波数範囲 522～1629kHz
AMステレオ放送対応
アンテナ ループアンテナ (付属)
実用感度 18 μV
ステレオセパレーション 400Hz：26dB
出力(30%変調時) 0.15V

その他

電源 AC100V 50/60Hz
消費電力 9W (電気用品取締法による)
最大外形寸法 434(幅)×75(高さ)×242(奥行き)mm
質量 2.5kg

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。



株式会社 **デノン** コンシューマー マーケティング

本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター TEL：(03) 6731-5555

受付時間 9：30～12：00、12：45～17：30

(弊社休日および祝日を除く、月～金曜日)

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先(サービスセンター)については、次の URL でもご確認できます。

<http://denon.jp/info/info02.html>